

Keio University



# 東村山三田会 Vol.17

発行人：紺田俊哉 編集人：東村山三田会会報編集委員会

## 会長挨拶

会長 紺田 俊哉

東村山三田会、会員・ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。  
皆様お元気に2024年の新年を迎えられたことと思います。本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。



当会の活動につきましては、下記するようにコロナ禍明けの昨年後半からやっと  
正常な活動に戻ることができ、誠にご同慶の至りです。

2023年04月16日	第9回定期総会
2023年07月13日	青梅の「小澤酒造」見学
2023年07月15日	第15回誕生会を開催
2023年07月29日	3年ぶりに食べ歩く会開催（所沢市 森の家）
2023年09月23日	俳句同好会 第100回記念句会を開催
2023年10月16日	慶應義塾高校の甲子園決勝優勝 同観戦記 駒形知之さん寄稿
2023年11月14日	バスツアー（山梨の紅葉を巡る）に参加
2023年11月19日	第11回デュオの会コンサート開催
2023年12月23日	クリスマスパーティー開催

上述の当会の運営・企画実現にご尽力いただきました方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、「東村山三田会」は、2014年4月19日に設立されましたが、今年4月をもって早くも創立10周年を迎えます。

当三田会が運営面でこれまで活発な活動が現在できている背景は、創立以来4年間、会長として貢献された松田さん、創立時の立役者であり役員としてもご尽力頂いた清水さん、澤田さん、初代幹事長として貢献された河邊さん、さらに、歴代役員の皆様のご尽力に負うところが大きいです。

また、2018年4月の第4回総会以来、私は会長を仰せつかってまいりましたが、副会長の熊谷さん、斉藤さん、幹事長の田中さん、その他役員の方々と共に、この記念すべき10周年を迎えることとなります。

今年4月開催の第10回定期総会では、盛大にこの10周年記念を皆様と一緒にお祝いしたいと思っております。どうぞ皆様のご参加をお願い申し上げますとともに、本年もまた各種当会活動にご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、今年1年が会員・ご家族の皆様にとり最良の年となるよう、お互いに元気に頑張りましょう。

## 2023年7月15日 第15回誕生会

2023年7月15日（土）第15回誕生会が開催されました。出席者は8名、うち今回の誕生月（4月から7月）対象の方が5名でした。

場所はいつもお世話になっている東村山駅前の「日本料理ひら川」さんで、8名で貸し切りにしていただきました。開店時間を早めていただき17時から開始で、17時には全員揃って誕生会の開始です。早速乾杯を行なって、おいしい料理と歓談の時間の始まりです。

途中18時に、今回は所用があり欠席の朝木さんが花束を持って来店されました。

花束の手配をお願いしてお持ちいただきましたので、該当の方5名に朝木さんから花束を渡していただき、記念撮影です。

今回の花束は、ひまわりの花が華やかでなかなか素敵なものでした。

飲みながらの話題としては、喫煙事情の今昔を現役喫煙者、喫煙OB、非喫煙者で盛り上がっていました。また、病気、病院に関する話題もいつも通り活発にされていたようです。

19時過ぎにお開きとして解散です。花束を忘れずにおうちにお持ち帰りいただいたでしょうか。

<田中 康之 記>



## 2023年11月14日 山梨の紅葉を巡るバスツアー

2023年11月14日、「クラブツーリズム」主催のバスツアーに参加しました。

当三田会からの参加者は9名です。ツアー全体では80名ほどの参加者で、朝の集合時には参加者の多さに驚いたほどでバス2台でのツアーでした。

東村山駅を7時10分に出発し、新倉山浅間公園、河口湖紅葉回廊、猿橋をめぐり、18時に東村山駅到着という行程です。当日の朝は大変寒くバスの暖房がありがたく感じましたが、天気は見事なまでの快晴で、昼間は動くとき暑く感じられるほどでした。

最初の訪問地は「新倉山浅間公園」で、富士山と五重塔と紅葉が人気の場所です。あいにく、紅葉は今年の天候から色づきが悪かったのですが、快晴の中での富士山と五重塔（忠霊塔）の景色は見事でした。展望場所までは398段の石段を登らなければならず、脚力の弱さを痛感しながらもなんとか上まで登ることができました。



ただ、参加者の内、給田さん、熊谷さんは自重して下で待機です。春、桜の季節は素晴らしいだろうと再訪したいと感じました。

次いで、「河口湖紅葉回廊」を訪れました。やはり紅葉は物足りなかったですが、河口湖からの富士山の眺めは雄大で、快晴の中で絶景を楽しみました。

昼食は「信玄館（しんげんやかた）」で山梨名物のほうとうと松茸炊き込みおこわをいただきました。「信玄館」というだけあって、玄関前の信玄像は甲府駅前の像と同じデザインのように迫力満点です。

また、今回のコースには入っていませんが、「信玄館」の目の前が「恵林寺」です。「恵林寺」は信玄の墓所であり、快川国師の「心頭滅却すれば火も自ら涼し」でも知られている古刹です。食事の後、短い時間でしたが境内を訪れてきました。

最後は「猿橋」を訪れました。伝承では600年代推古朝の時代に初めて橋が架けられたとされています。

現在の橋は昭和59年に架けられたもので、江戸時代の資料を基に復元されたとのこと。

橋の上は普通なのですが、下から見ると、深い谷間のために橋脚はなく、鋭くそびえたつ両岸から四層に重ねられた「刎木（はねぎ）」とよばれる支え木をせり出で橋を支える構造が見られます。徳島県のかずら橋、山口県の錦帯橋などと「日本3奇橋」に数えられています。

そばに昔の水力発電所の施設であった水路橋が通っていて、珍しいので写真を撮っておきました。

これで全ての旅程を終え帰路につきました。

途中、若干の渋滞がありましたが、18時30分、無事に東村山駅に到着です。天候に恵まれ、参加者全員このバスツアーを楽しむことができました。



<田中 康之 記>

## 2023年12月23日 2023年度 Xmas パーティー

ようやく新型コロナが沈静化して会場での飲食ができるようになりました。2019年12月以来久しぶりに近隣三田会、稲門会の幹部の方をお招きして、食事とアルコールの入ったパーティーを開催することができました。

今年は、会員・準会員20名、来賓7名、家族5名、デュオの会5名の合計37名の方に参加いただきました。子供の参加も4名あり楽しいパーティーとなりました。

給田会長にご挨拶をいただいてパーティーの開演です。

懇親会ではまず始めに「諏訪神社 西宿囃子保存会」により、笛と太鼓と鉦のお囃子に合わせて幼児から大人までの構成で演舞を披露いただきました。三番叟、獅子舞、狐面の踊り、おかめ・ひょっとこ面の踊り、



女性10名によるお神楽と楽しくまた迫力満点の出し物を演じていただきました。

懇親会の後半には、デュオの会上野姉妹と給田会長のミニコンサートです。

2日前に急にお願いしたのですが快く引き受けていただき、クリスマスソング4曲とアンコール1曲を歌とキーボード、ヴァイオリンで楽しいステージを観させていただきました。途中からステージ上で上野さんのお子さん達が曲に合わせてリズム楽器を演奏して、とても可愛く素敵なステージでした。最後は、恒例のビンゴ大会です。

例年のようにシクラメン、ポインセチア、お菓子、差し入れのお酒などたくさん準備しました。ただ、今年はいつもの慶應グッズがありません。

連合三田会のチケット購入の記念品が年明け到着とのことで次回のパーティーでの賞品に先送りです。そのため、お花とお菓子が多い賞品構成となりました。

最後に塾歌、早稲田大学校歌、慶應讃歌、若き血を合唱しました。こちらも久しぶりの大きな声での合唱です。

東村山稲門会の小森副会長が早稲田応援部ご出身とのことで前で音頭を取っていただきました。

そして、記念の集合写真を撮って閉会になりました。開始前の準備と終了後の後片付けにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

<田中 康之 記>



## 2023年11月19日 第11回「デュオの会コンサート」

昨年までは、ハロウィンに合わせ10月に開催していましたが、運動会などの行事と重なり参加できない子供たちがいるため、11月に開催することになりました。

昨年は10回記念ということで同じ演奏内容で午前、午後の2回開催でしたが、今年もデュオの会の希望で2回開催することになりました。

昨年は観客数が偏らないようチケットに指定しましたが、今年はお客様の自由選択としました。

予想通り、午前が若干多かったですのですが、混乱なく開催することができました。

昨年まで多くのお客様に参加していただくため、富士見町、栄町2、3丁目にチラシを投函したり、市内の公民館にポスターを貼ったり、チラシを置いたり、知り合いにチケットを配布しておりました。

毎年ファンが増え、半数は毎年参加していただけることがわかり、ポスターは富士見公民館のみ、チラシの投函も100部程度とし、無理なチケット配布をしないこととしました。これにより、三田会の負担は大幅に軽減することができました。

喜寿を越えた糸田会長にとっては、連続2回の演奏は体力的にも精神的にも相当な負担があったと察しますが、ハイレベルの演奏にお客様は大拍手、感動しました。

東村山稲門会、小平三田会、西東京三田会のご協力を感謝いたします。

<齊藤 忠義 記>



## 2023年7月13日 小澤酒造見学

7名が参加し、青梅線沢井駅そばにある銘酒「澤乃井」で知られる「小澤酒造」の見学を行いました。

11:20 に沢井駅に集合し、まずは小澤酒造が経営する「ままごと屋」で食事です。

ここは、自家製豆腐・湯葉会席のお店で、豆腐と湯葉と野菜の料理が提供される食事処です。お品書きに「お造り」とあり何の魚が出るのかなと話していたら、野菜のお造りでした。

この後の日本酒を楽しみに、料理の際のお酒は控えめにしておきます。なお、食事の場所は下に多摩川の流れを眺めることのできる風情のある部屋で、カヤックで遊ぶグループが見られました。

食事の後は、今回のメイン「酒蔵見学」です。小澤酒造は創業が元禄15年との説明を受けてから元禄蔵、明治蔵などの木組みの酒蔵の内部を30分ほど見学させていただきました。見学した蔵にはできあがったお酒を貯蔵しているタンクが並んでおり、暗くひんやりした内部です。

酒蔵見学が終わった後はお待ちかねのお酒です。併設の「きき酒処」でいろいろな種類の「澤乃井」を味わうことができます。全部で9種類あり、値段は200円から500円、2杯目からはおちょこ持参で100円引きになります。ここでしばらくお酒を楽しみ、お土産を買って解散となりました。

なお、「ままごと屋」の食事の前に、2名だけ隣の御嶽駅そばの「玉堂美術館」を鑑賞してきました。日本画家川合玉堂が晩年を過ごした青梅市御岳の地に建てられた、落ち着いた佇まいの建物と庭園の美術館でした。

連日猛暑が続いていて心配していましたが、当日は朝方雨が降りましたが昼間は曇りという出かけるには都合のよい天気です、一日楽しむことができました。

<田中 康之 記>



## 同好会通信♪

### ☆あるいて三田会東村山☆ (15名)

【世話役 鈴木 実 (S50 年卒) 連絡先 minoru\_s@1975.jukuin.keio.ac.jp TEL 090-6539-8336】

気がついたらもう12月、あっという間に1年が過ぎていくことをヒシヒシと実感する。年を取るほどに1年の経過を短く感じるが、子どもを感じる1年は老人の数年分との話を聞いたことがあり妙に納得してしまう。

今年も昨年に続けて「この指とまれウォーキング」と名付け、西武鉄道主催の「ウォーキング&ハイキング」の中から場所、時期、内容、日時などを条件に5つの企画(うち1回は中止)を選んで参加しました。実施した5回は次のとおりです。

4月19日(水)羊山公園「芝桜の丘」散策、5月9日(火)吾野の清流高麗川沿いの山道を歩く、5月17日(水)新緑が映える狭山湖から鎌倉攻めゆかりの古戦場跡へ!(参加希望者がいなかったため中止)、11月11日(土)秋色に色づく狭山丘陵を歩こう、12月2日(土)練馬城址公園から石神井川沿いを散策!参加した4回にはそれぞれに特色がありました。

4月19日、羊山公園の丘がすべて芝桜の白とピンクに覆われる景観は圧巻でした。5月9日、苜場坂峠を水源とする荒川水系の春の高麗川沿いの山道では、新緑と森林浴を満喫しました。11月11日、狭山丘陵沿いの椿峰緑道を歩き、途中メガソーラーからの街並みを眺め、狭山湖堤防から望む奥多摩の山々を見ながら多摩湖へ至るコースは、普段の散歩コースに新たな発見もあり参考になりました。12月2日、子どもたちに出かけた「としまえん」の跡地を整備した練馬城跡公園の一角には「ハリー・ポッター館」があり、今風への変化を実感した。途中、石神井川沿いのコースでは道を間違えてしまい、自分達がいま何処にいるのかさえ分からなくなってしまい、コースに戻るまでの右往左往ぶりは今でこそその笑い話です。

来年も引き続き西武鉄道主催の「ウォーキング&ハイキング」を企画の中心に考えています。コースの中には新年恒例の「七福神巡り」もあるので、参加を検討しています。ほかに東村山市が選んだ「8つの市内ウォーキングコース」のどれかを歩いてみようと思っています。

歩く会の会員以外に、東村山三田会の皆さんには健康維持に効果的なウォーキングへ、一人でも多く参加もらいたいと思います。

<鈴木 実 記>



## ☆食べあるかい?(グルメの会)☆ (25名)

【世話役 櫻井正廣 (S46年卒) 連絡先 msgemini30@gmail.com TEL 090-1767-1617】

隅田川花火大会が久しぶりに開催された7月29日(土)の夜、食べあるかいのメンバー12人で西武園の花火を鑑賞しながらフランス料理を楽しんできました。

場所は八国山緑地の西側にある隠れ家のようなレストラン「森の家」。3年半ぶりに食べあるかいが再開されましたが、ここ「森の家」は2019年8月に訪れ大好評だったレストランです。

女性シェフが腕をふるった本格フレンチで、オードブルに始まり新鮮野菜のサラダやポターージュ、エビのテルミドール、デザートはシャンパングラスに入ったアイスクリームというコースでした。

チーズをふんだんに使ったテルミドールの濃厚なソースはパンに付けても美味しく、味も量も大満足な内容でした。また、幹事の方がワインをたくさん用意されてくださり、美味しい料理と美味しいワインを十二分に堪能しました。「WASEDA」という赤ワインもあり、まあまあ美味しかったです。

「森の家」は外観は普通の民家ですが、食事をいただいたのは重厚な雰囲気のお部屋で、ずっしりとした大きいテーブルを並べて、ジノリのお皿やバカラのグラスなどを使った、食器でも楽しめるお店でした。

西武園の花火は数発だけで10分足らずで終わりました。隅田川とは比べようもないくらい小規模な花火大会でしたが、夜空に打ちあがる花火を実際に見て音を感じて、その感動を旧知の人々と分かち合えた素敵なひとときでした。

2023年夏の良い思い出です。

<松江 佳子 記>



## ☆俳句同好会☆ (9名)

【世話役 佐藤嘉江子 (S57年卒) 連絡先 kae\_ztjiz@yahoo.co.jp TEL 090-1734-7582】

「柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺」とは、子規の有名すぎる句ですが、この句は漱石の「鐘つけば银杏散るなり建長寺」を踏まえていて、漱石の俳句の師である子規が、こう詠んだほうが良いと示したものとされているようですが、私は漱石の句のほうが好きでした。

子規の柿好きが周知のこととして鑑賞されますが、素直な写生句ということでしょう。漱石の句は深沈と鐘の音が響いている古刹のしみじみとした風情が感じられるのではないのでしょうか。

今までそう思っていました、この頃は少し考えが変わってきました。

ピカソが牛の絵を写真から抽象へ変えていくフィルムを見たことがありましたが、抽象に変化していくに



従って簡素な線になっていきます。なるほど見事でした。

この制作過程を子規に当てはめてみると漱石の具象的な描写に対して、子規の素朴でやや抽象的といってもいい描写が納得できます。

同じく子規の著作「病牀六尺」の掲載句に「いくたびか雪の深さを尋ねけり」がありますが、雪を見られずに外の銀世界を想像しながら雪の降り積もってゆく様を何度も尋ねるとするのは、誰もがその心情に共感するものでしょう。技巧にとらわれず素直に読んでいます。勿論、先人の句を何万句も読んできた子規ならではの深いものがあります。

詩人の高橋睦郎さんがこんなことを書いていました。子規の「鶏頭の十四五本もありぬべし」を取り上げて、もしこの句から子規を外し、彼の病境涯を考慮しなければ凡句にすぎないとの評価を見たが、晩春から初冬のよく晴れた一日、冷たいくらいに澄んだ空気の中の何もない枯庭に、いまはない鶏頭十数本の色の饗宴を、記憶・想像によって回想・喚起したこの一句は、藤原定家の「み渡せば花ももみじもなかりけり浦の苫屋の秋の夕ぐれ」に通ずる、無と有との境界に立つ出色の傑作と評価すべきではなからうかと。

俳句は鑑賞者によってかくも生きてくるものだと改めて感心した次第です。

俳句は十七文字という短い詩型により鑑賞者によって様々に解釈されます。解釈によって詠み手の意図を越え深みのある句にもなるのです。

だから皆が好き好きに語り合う句会が楽しいものとなります。当句会も百回を超えこの楽しさが共有されています。皆さんも参加してみませんか。

金木犀交はすお早う堀越しに	蓑
清明の雫をこぼす庭の木々	千枝子
春立つや暦戻すか白き朝	弦六
植木屋のみやげ勤労感謝の日	かえる
海風て水平線へ月の道	岳徒
新盆や父の作りし猪口五つ	丸女
麻のれん潜りや真砂女が小料理屋	蹴平
薄墨に奥深き蒼冬うらら	栗丸
かの国に帰る地あるか冬の雁	凡水

<廣田 眞一 記>

## ☆ボウリング同好会☆ (15名)

【世話役 給田俊哉 (S43年卒) 連絡先 t.taida-vn@i.softbank.jp TEL 090-6540-3927】

ボウリング同好会に入ってから何年経ったか忘れましたが、私個人としては今では自然にボウリングを楽しんでいるようです。12月は4日の月曜日に例会が開催されました。

ボウリングの例会は通常、11時30分から食事をして、その後にゲームを行います。

食事は久米川の色々などところに行きますが、今回は久米川ボウルの近くのダイヤ寿司です。

最近は参加人数が4～5人程度でほぼ固定化しています。今回の参加者は相川孝訓のほかは給田俊哉さん、田崎三千男さん、西東京三田会の高橋信一さん、田中康之さんです。食事中は情報交換が始まり高齢者が多いせいか話題が健康問題、病気や病院の話、などがよく出てきます。

食事後にボウリングを2ゲーム行います。皆マイシューズを持っています。最初は貸靴だったのですが、

安く購入できるのでマイシューズにした方が良いと勧められ購入しました。

若いときにはそれなりの高得点を取った記憶があるのですが、今は予想通りにボールが転がってくれず点数もなかなか増えません。以前は14ポンドぐらいのボールを転がしていたのですが、現在ではさすがにこれは無理で10ポンドのボールでなんとか頑張っています。

調子が悪いと二桁の得点しか取れないのですが、今回は比較的良い点数が取れました。予想通りに転がってくれないこともありましたが、1回目は139点でトップ、2回目は133点と久しぶりに良い成績を残すことができました。2回目は田中さんが149点とトップを取られてしまいました。皆さん同じぐらいのレベルであり楽しんでゲームを進めることができました。今回はスピアの次の回が1本しか取れないなどもったいないこともありましたが、久しぶりにストライクをダブルで取ることができてうれしかったです。

2ゲームぐらいが高齢者にとっては丁度良い運動であり楽しんでゲームを終わることができます。今回は2レーンでのゲームだったのですが、3レーン、4レーンになれば高得点競争が激しくなるのではないかと今後参加者が増えることを楽しみにしています。

みなさん一緒にボウリングをやりませんか。

＜相川 孝訓 記＞

## ☆ゴルフ同好会☆ (16名)

【世話役 豊本節雄 (S53 年卒) 連絡先 stoyo512@yahoo.co.jp TEL 080-3177-3825】

### 第12回同好会ゴルフ開催

(2023年11月22日 於 高麗川カントリークラブ)

初冬とは思えない小春日和の天気の下、青木さんや丸さんの久しぶりの参加、廣瀬さん(S51)の入会などにより、久しぶりに3組(10名)での盛り上がったコンペになりました。また、市川さんの紹介で、初めて高麗川カントリークラブを使用しました。グリーンに手こずりましたが、素晴らしいコースを楽しむことができました。



最近のゴルフ場の乗用カートは、スコア入力・表示ができるようになり、コンペ参加者全員のスコアの途中経過がタイムリーに分かるようになっています。

それを見ていると、途中までは接戦でしたが、その後、市川さんが大きく引き離し、圧勝されました。

やはり、当クラブのグランドシニア選手権で2回も優勝されている実力者だけに、格の違いを感じた次第です。準優勝は初参加の廣瀬さん、3位は水上さんでした。なお、ブービーは神尾さん、ブービーメーカーは豊本(2回連続)でした。

コンペ終了後の簡単な懇親会で、次回は5月に清澄ゴルフ倶楽部で行うことを確認し、散会しました。

＜豊本 節雄 記＞

### ＜上位の成績＞

優勝	市川栄二さん	グロス	81	ネット	71.4
準優勝	廣瀬昇弘さん	グロス	107	ネット	77.0
3位	水上隆司さん	グロス	106	ネット	78.4

## ☆慶美会(スケッチ同好会)☆ (5名)

【世話役 清水英男 (S38年卒) 連絡先 hidshim@jt.ejnet.ne.jp TEL 090-2655-9231】

コロナ禍で長く活動を休止している間メンバーも五人になってしまいましたが、何らかの活動を開始すべく、外出の難しいお二人を除き、久しぶりに11月に三人で集まり、会食をしながら今後の活動について話し合いました。

長く続けてきた会を終わりにするのは残念なので、時々お二人にもお声を掛け乍らそれぞれが描いた絵を持ち寄ったり、美術展や画の話をしながら、参加希望の方がおられることを期待しつつ三人で続けていこうということになりました。次回は春頃の予定です。

<清水 英男 記>

## ☆麻雀同好会☆ (21名)

【世話役 田中康之 (S52年卒) 連絡先 vvtanaka@m7.gyao.ne.jp TEL 080-6528-0202】

色川武大という作家がいました。先頃亡くなった伊集院静さんの「居眠り先生」のモデルになった人です。もう一つのペンネームは阿佐田哲也(朝だ徹夜だ)といい麻雀小説で一世を風靡しました。和田誠監督で映画にもなった「麻雀放浪記」は代表作です。戦後の、焼け跡が残る混乱した時代を背景にしています。

麻雀もまだ手で積んでいた時代ですから、天和(てんほう)を詰め込んだり、13面返しなど手品のようなプロ同士の戦いが描かれ皆さんのなかにもご覧になった方もいらっしゃると思います。主人公の坊や哲はご自身がモデルでしょう。雀聖として一目置かれていた存在です。

担当編集者として阿佐田さんに接していた思い出を少し書いてみます。

彼はナルコレプシーという難病を患っていましたが、突然睡魔に襲われ眠りに落ちてしまうという病で、晩年卓を囲んだ時にも突然寝てしまい無理やり起こして続けさせてしまったこともありました。勿論私たちと卓を囲む時は本気ではなかったと思います。

阿佐田さんの麻雀小説の挿絵は黒鉄ヒロシさんに担当してもらいました。原稿の遅さときたら三本の指に入るくらいで(井上ひさしさん等)、傍でひざ詰めで見張っていないと一向に進みません。絵組と言って描かれるであろう場面を想定して挿絵を描いてもらうことも度々でした。

黒鉄さんも博打好きで、阿佐田さんを缶詰にしているところへ、激励と称して井上陽水らをつれてチンチロリンに誘いに来たり邪魔されたこともありました。

原稿の遅い作家はよく行方をくらまします。その場所を探るには、よく行く文壇バーなどに張り込んだり、外出されないよう自宅に泊まりこんだりしました。

麻雀小説には超絶技巧の主人公がいろいろ登場しますが、その発想の源を聞いたことがあります。水滸伝の梁山泊の豪傑・怪人を参考にして登場人物の人間像を描くことが度々あったとおっしゃっていました。

色川武大名で書く原稿は純文学作品で、文字も原稿用紙のマス目いっぱいの子で書き、阿佐田哲也名で書くエンターテインメント作品の字はマス目を無視した小さな字で書くという書き分けで頭を切り替えていたようです。麻雀の神様として知られていた彼についてのエピソードを記させていただきました。

三田会麻雀には初心者である女性麻雀の卓もあります。これから麻雀を始めたい方も是非ご参加ください。

<廣田 眞一 記>

## 2023年の成績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
優勝	河崎	河崎	神尾	河崎	熊谷	田中	河崎	清水	岡崎	清水	清水	河崎
2位	朝倉	岡崎	小駒	廣田	清水	廣田	廣田	岡崎	熊谷	河崎	河崎	清水
3位	月出	廣田	河崎	清水	河崎	月出	月出	河崎 田中	清水	池田	廣田	池田
参加者	12名	12名	12名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	8名

### ☆カラオケ同好会☆ (20名)

【世話役 齊藤忠義 (S44年卒) 連絡先 yasaka\_kumegawa@yahoo.co.jp TEL 090-7005-9959】

コロナ禍により活動休止中

### ☆今後の活動の予定☆

2024年03月16日 第17回誕生会

2024年04月20日 第10回定期総会

### ☆会員の情報☆

会員数 74名 (2024年1月1日現在)

新入会員 なし

### 会員通信 原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。

テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。

誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。

文字数は200～400字程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵送：〒189-0014 東村山市本町3-9-10 東村山三田会 会員通信 原稿応募係 廣田眞一

メール：higasimurayama\_mitakai@yahoo.co.jp

### ホームページ 投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。

字数や写真枚数の制限は会報より大きく、かなり自由な表現が可能です。

投稿される方は、ホームページ担当（田中）までご連絡ください。

メール：vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集委員 廣田眞一・齊藤忠義・田中康之